

第529回 放送番組審議会 議事録

1. 日 時 2017年4月18日(火) 午後1時30分～
2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室
3. 委員総数 9名

出席委員 7名

委員 長	國分 正人
副委員 長	千葉 隆史
委員	五日市知香
委員	三浦 茂樹
委員	恒川 かおり
委員	照井 勝也
委員	佐藤 俊彰

欠席委員 2名

委員	大橋 綾子
委員	大内 敦

社側出席者	檜崎 憲二 (代表取締役社長)
	山口 英二 (専務取締役)
	青山 尚之 (常務取締役 兼 編成局長)
	関 英祐 (報道制作局長)
	野田 喜代志 (報道制作局専任局長)
	池田 学 (営業局長)
	菊池 健 (報道制作局報道部専任部長)

事務局	遠藤 隆 (編成局放送番組審議会事務局長)
	平山 亜希子 (編成局編成部副部長)

4. 議 題

1. 「ニュースプラス1 特集 第19回 うったづぞ 味と人情 仮設のすし屋」
平成29年3月20日（月）10:55-11:25
2. その他

5. 資 料（資料として以下のものを配布）

- ・ 視聴者からのご意見

6. 意 見

委員側意見

- 被災地で、その地に足をつけて頑張って生きていくという人の姿や覚悟が伝わってくる番組だった。
- 主人公の阿部さんのキャラクターが非常に明るいので、どちらかというとそちらが強調されがちだが、非常に重いメッセージがあった。
- 本人の言葉をふんだんに使い、被災した事業者の方が抱えている問題、本当の気持ちがストレートに伝わってきた。
- 陸前高田市だけでなくほかの被災地域も取材してもらいたい。
- 将来の希望とか、出演した息子さんへの取材も掘り下げ、被災地の将来の希望が持てるような期待を持たせてくれる流れがあれば、さらに良かった。

局側

- 陸前高田市の寿司屋を取材場所にしたのは陸前高田市の被害が大きく、一から街づくりが進んでいて街づくりも含めて取材を考えたため。
- 仮設でお店を営んでいる方達の息づかいとか喜怒哀楽がなるべく伝わるように構成。陸前高田の寿司屋さんを舞台に人間交差点のような形で描きたいと考えた。
- 陸前高田は、来週大型商業施設ができるなど街ができていくが、その中で、そこで生きる方達がどう奮闘していくか、また、被災地を含め岩手の沿岸の今後について取材を続けて見つめていきたい。

4月番組審議会（今回）のテレビ放送予定

4月25日（火）11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」